

	東京医科歯科大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部保健衛生学科看護学専攻（第1年次：55名） 検査技術学専攻（第1年次：35名） 保健衛生学研究科総合保健看護学専攻（M：17名、D：8名） 生体検査科学専攻（M：12名、D：6名）
沿革・設置目的	<p>医学部附属厚生女学部、医学部附属看護学校並びに医学部附属衛生検査技師学校、医学部附属臨床検査技師学校を経て、平成元年に看護学及び検査技術学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健衛生学科が設置された。</p> <p>昭和26年（1951年） 新制東京医科歯科大学設置 医学部附属厚生女学部を医学部附属看護学校に改称</p> <p>昭和37年（1962年） 医学部附属衛生検査技師学校設置（昭和47年（1972年）に医学部附属臨床検査技師学校に改組）</p> <p>平成元年（1989年） 医学部保健衛生学科設置</p> <p>平成5年（1993年） 大学院医学系研究科保健衛生学専攻（修士課程）設置（平成7年（1995年）に博士課程を設置し、平成11年（1999年）に大学院保健衛生学研究科に改称）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 東京医科歯科大学の理念等に基づき、社会の変化や技術の進化に対応し、高度な実践能力を持つ看護・検査実務者の養成と、将来の研究者、教育者、指導者に繋がる人材育成を行う。特に、医歯学融合教育、四大学連合等による多分野連携により学際的なリサーチマインドを持ち多職種協働の中で専門性を発揮できる人材の育成を積極的に推進する。</p> <p>○ 看護学博士課程5年一貫制への改組及び国公立5大学による共同教育課程設置を行い、高度な能力を有する研究者・教育者及び看護管理者や行政官として活躍できる人材並びに高度実践者（専門看護師）の育成をさらに推進する。特に、国際的視野を持つための教育をさらに発展させ、国際共同研究・実践等に取り組み、研究成果を国内外に広く発信できる人材育成や、世界的規模の課題に対する研究や人材育成を積極的に推進する。</p> <p>○ 医学系大学産学連携ネットワーク協議会（medU-net）を活用して、医療・地域・介護現場のニーズに基づく実用化を目指した産学連携の研究</p>

活動等の特色ある取組を推進し、我が国の保健系分野の教育研究の水準向上に寄与する。

- 医歯学融合教育や学内の先端医療実践施設等との連携を活かし、再生医療やテーラーメイド医療などの最先端の知識と技術を備えた高度医療技術者の育成を推進するとともに、国際的・学際的視野を持つ臨床検査の専門家として自立した研究者・教育者を養成し、我が国の臨床検査学教育の質の向上を牽引する。